

自給飼料の増産

一飼料作物の作付は計画的に一

岡山県和牛試験場 池田 新

◎工夫と努力で飼料作物の増産を

米やいもは良い土地でなければ作れません。ところが家畜の飼料はどこからでもとれることができるのでこれが畜産の強味です。

もちろん飼料作物は良い土地につくるにこしたことはありませんが、一方では利用度の低い土地を利用して狭い土地を高度に生かし、あなたの家畜のために年中不足することのないよう自給飼料を増産しましょう。

◎飼料作物はいつ播いていつ刈るか

家畜に与える年中ほぼ同じようなものが与えられるにこしたことはありません。したがって、あなたが飼料作物を作るときは、年中絶え間なく収穫できるように作付けするか、または収穫できない期間の分は乾草やエンシレーヂとして貯蔵しなければなりません。

また飼料作物の中には播種期間の長いもの、生育の極めて早いものがありますから、この性質を利用して二毛作、三毛作することができます。寒地と暖地とでは条件が違いますが、県北の寒冷地で播種期と収穫期によって飼料作物を分けてみると大体次のようになります。

夏まき（7、8月）秋取り（9、10月）

デントコーン、スーダングラス、ソルゴー、青刈大豆、カウピー、ルタバカ

秋まき（9、10月）冬取り（12、1月）

えんばく、イタリアンライグラス、かぶ、レープ、ケール、Hワンライグラス、ルタバカ

秋まき（10、11月）春取り（2～4月）

えんばく、ライむぎ、えんどう、コモンベッチ、ヘヤリーベッチ、イタリアンライ、レープ、C・O、牧草類

春まき（3、4月）夏取り（6、7月）

イタリアンライ、かぶ、レープ、青刈大豆、クリムソクローバー、ひまわり、えんばく、ビート、

コモンベッチ

春まき（4、5月）夏、秋取り（8～10月）

牧草類、デントコーン、ソルゴー、パールミレット、スーダングラス、パールミレット、カウピー

これによってどのような飼料作物をどの場所に播くかをきめ、反当収量の予想を立てて栽培すれば、あなたの家畜にたっぷり自給飼料をあたえることができます。

参考までに、これらの反当収量の大体は第1表のような基準で見積ればよろしい。

第 1 表

利用目的	作物名	播種期	生育日数	10アール当りの収量予定
晩秋	デントコーン	8月下旬	50日～60日	3,000～4,000Kg
	ひまわり	9月中旬		
冬期	ケール	9月上旬	100日から	4,000～5,000Kg
	レープ(C.O)	～	80～100	4,000～6,000
	かぶ	10月上旬	90～110	5,500～7,000
早春 冬	ルタバカ	～	120～200	6,000～7,000
	エンバク	9月上旬	50日から	3,000～4,000Kg
	ライムギ	～	〃	3,500～5,000
	ベッチ	11月上旬	〃	2,500～3,500
早春	イタリアンライグラス	～	60日から	3,000～6,000
	クリムソクローバー	8月下旬	160日	3,000～5,000Kg
	赤クローバー	10月中旬	180	3,000～6,000

◎牧草をまく時の注意

1、土地の準備

- (1) よい土地には質の良い牧草を、悪い土地には丈夫な牧草を入れよう。
- (2) 雑草や灌木はできるだけ除いておく。
- (3) 酸性土壌には適度の石灰を入れる。石灰は肥料として牧草に吸収され、家畜のために役立つ。

2、播種

- (1) 種子はよいものをえらび、まめ科牧草のたねには硬粒があるから軽く砂とまぜて揉み、傷をつける。
- (2) まめ科牧草の中ルーサン、ルーピン、スイ

岡山畜産便り 1960.10

- ートクローバーなどには根瘤菌をつける。
- (3) 播種量は次の基準によってまき、また整地不十分の所はやや多い目にまく。
- (4) 砕土、整地をよくし、覆土は深すぎないようにする。
- (5) 播種は条播かばらまきとする。
- (6) 反当播種量は大体第2表の標準によればよい。

◎飼料作物の輪作または水田裏作栽培について

青刈作物や牧草を取り入れ、上手に輪作を行なうことによって他の作物も増収し、併せてたくさんの自給飼料を生産することができます。

そこで次に畑、水田の利用栽培例を示しましょう。(第3表) (第4表)

3、肥料

(1) 多収を期する輪作内の草地の場合は堆厩肥をすき込むか、初期生育を促すため化学肥料を施す。

(2) 山野の草生改良の場合は化学肥料を主体に

第2表

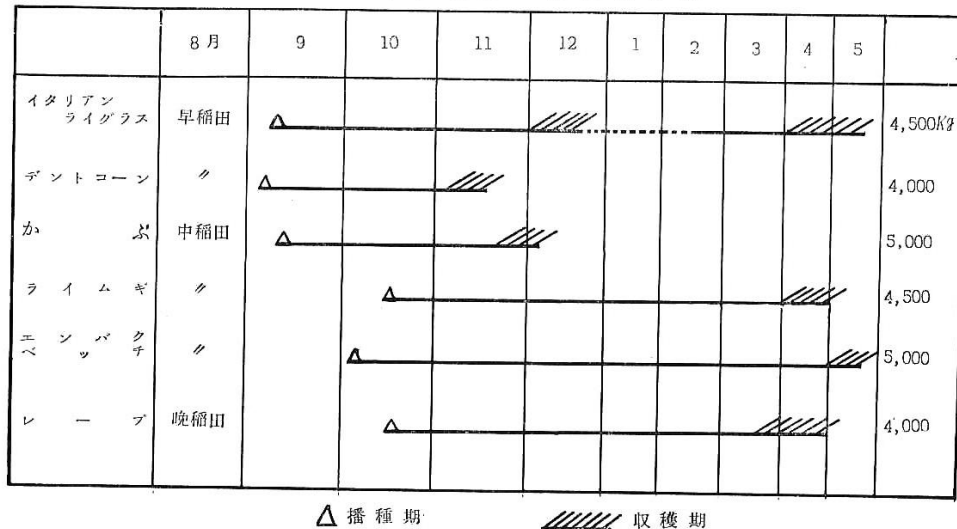
いね科牧草 (10アール当り)		まめ科牧草 (10アール当り)	
作物名	播種量	作物名	播種量
オーチャードグラス	2.0~2.5	赤クローバー	1.0~1.5
イタリアンライグラス	2.0~2.5	白クローバー	0.5~1.0
ケンタッキー 31 F	1.5~2.0	ラデノクローバー	0.5~1.0
ウイピングラブグラス	0.3~0.5	クリムソンクローバー	1.5~2.0
トルオートグラス	1.5~2.0	ルーサン	1.5~2.0
ベレニアルライグラス	2.0~2.5	カウピー	4.6~6.0
Hワンライグラス	2.0~2.5	コンモンベッチ	4.0~5.0
レッドトップ	0.5~1.0	ヘヤリーベッチ	4.0~5.0
マウンテンプロムグラス	1.5~2.0	アルサイククローバー	0.5~1.0

施し、初期生育を促進する。

(3) 大体の基準量は次の通りである。

10アール当り施肥量(硫安 20~25 kg、
過石 24~30 kg、硫花 10~15 kg)

第3表 水田裏作の飼料栽培例



第4表 飼料専用畑の栽培例

